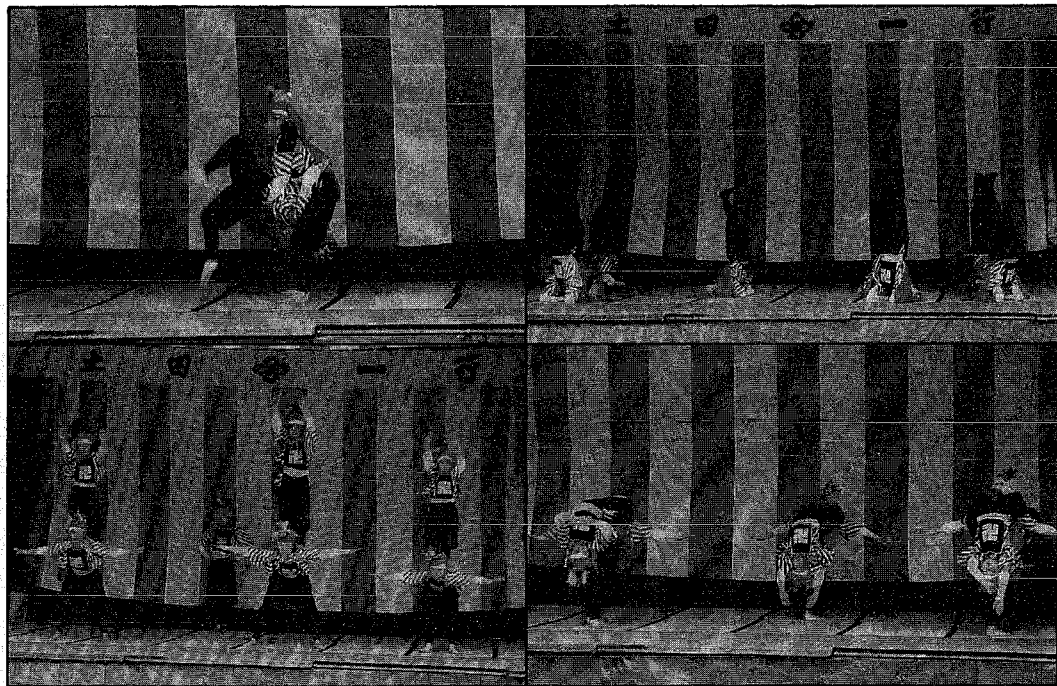


伝統の妙技に大観衆が拍手



梅雨真っ只中に、恒例の月湯まつりが23日の宵宮から24・25日の両日にかけて行われました。

前夜祭の23日の夕方には各町内が何ヶ月も前から苦心して作った力作の7つの山車が白山神社に勢ぞろいし、5時の出発の合図でワッショイ・ワッショイという元気な掛け声が街に響き、街中が祭一色になりました。夜には商工会主催による仮装民謡流しが行われ、見物人に大きな笑いをふりまいていました。

24日祭りの日は、朝からあいにくの雨で残念ながら午前小学校マーチングバンドパレードは中止になりましたが、午後からは天気も回復し、白山神社境内にはぞくぞくと人が集まり土田芸能社の演芸やまもなく設立10年になる月湯太鼓の勢いとみごとなバチさばきに拍手がわきました。24日は土曜日という事もあり祭りの第一のよびもの「角兵衛獅子の舞い」の時間には観衆が千人近くに膨れ上がり、神社境内は身動きできないほどでしたが、独特の衣装を身に付け、口上に合わせて舞う伝

統の妙技を披露するたびにどよめきと大きな拍手が起きました。夜は月湯小唄も手伝って夜店を楽しみ人々で祭りは最高の夜を迎えました。

月形町の物産も 祭りに一役



昨年に続き、北海道月形町の物産も好評で、開店前からにぎわいを見せ、昨年よりも品数、品種とも多く用意した



▲北海道の味はいかがですか。

のにもかかわらず、4時頃までに完売してしまう盛況ぶりでした。

月形町の職員のみならずも、この売れ行きに、びっくりされたようで、流れる汗をふきながら対応におわっていました。

又、途中で神社の方にも足をむけられ、角兵衛獅子、月湯太鼓など楽しまれていた様です。

祭り期間は、梅雨にも負けず無事終了する事ができました。残念ながら小学校マーチングバンドパレードのみ中止となりましたが、ご協力をいただいた各関係者役員のみならず、祭りに参加した全てのみならず、「苦勞さまでした。



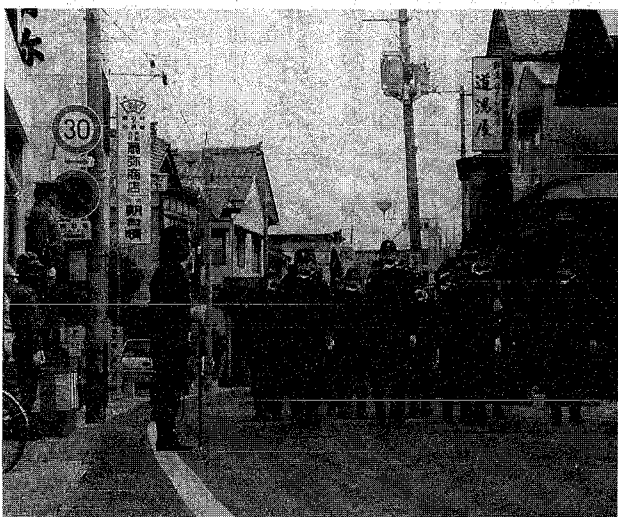
平成7年度 月湯村消防団連合演習

6月11日、午前7時10分、月湯村役場から出火、延焼中という想定のもと、月湯村消防団、白根地区消防署の消防車積載車・救急車が出動し、消火作業や人命救助など、本番さながらの演習が行われました。

想定演習終了後、中学校グラウンドで点検やポンプ操作競技を実施、日ごろの訓練の成果を披露しました。その



▲郡大会に出場した選手のみなさん



後、月湯市街地で力強い分列行進を行い、閉会しました。

なお、小型ポンプ操作大会の結果は、次のとおりです。

- 第1位 第二分団第二部 (上曲通・下曲通)
 - 第2位 第一分団第一部 (月上)
 - 第3位 第一分団第二部 (月下)
- 第二分団第一部(西萱場)は、7月9日、西川町で開催された郡小型ポンプ操作競技大会に月湯村の代表として出場しました。

また、当日表彰を受けられた人は、次のとおりです。

- 一、永年勤続表彰 (一)10年以上
 - 山上 秋夫・北沢 一幸
 - 田村 甚成・青柳 秀康
 - 青柳 一男・登石 大雪
 - 竹内 恭司・中山 関雄
 - 五十嵐治彦・真水 学
 - 児玉 恒幸・阿部 増栄
 - 原 利浩・野内 一夫
 - 大橋 唯吉・高柳 芳実
- (二)15年以上
 - 宮本 康明